



サステナブル投資に対する弊社のアプローチ

2024年1月

弊社について

1958年の創業以来、アメリカン・センチュリー・インベストメンツ®は、世界中のお客様のために、アクティブ運用を通じて優れたリスク調整後パフォーマンスを提供することに力を入れてきました。株式や債券、システマティック、マルチアセット・クラス、プライベート・エクイティの各戦略を含め、世界の機関投資家、アドバイザー、個人投資家のニーズに応えるために、多岐にわたる投資ソリューションを運用しています。弊社の投資分野はそれぞれ、投資先の市場向けに設計された独自の哲学とプロセスに従っています。

サステナビリティへのコミットメントは、アメリカン・センチュリーのパーパス・ドリブンのビジネスモデルに端を発しており、資産運用業界における私たちの強みとなっています。弊社独自の資本構造により、お客様の経済的な成功を後押ししながら、ストワーズ医学研究所を通じて世界の医療の進歩を支援しています。こうしたビジネスモデルは、弊社の文化の形成に役立っており、サステナビリティ原則を投資業務に組み込むことは自然な流れなのです。

さらに、アメリカン・センチュリーは責任投資原則（PRI）の署名機関であり、サステナビリティ・ファクターやESG（環境、社会、ガバナンス）ファクターは、運用パフォーマンスや投資家としての行動に影響を与える可能性があると考えています。弊社は、フィデューシャリー・デューティーと整合する場合、投資プロセスおよびスチュワードシップ慣行にサステナビリティの課題を組み込むことを求めるPRIの原則にコミットしています。

基本原則

アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク（ACIM）は、フィデューシャリー・デューティーと整合する場合、投資主導のアプローチをサステナビリティに適用してお客さまへの価値提供を目指します。投資の市場価値の大きな部分が無形資産で構成されていることを考慮すると、重要なサステナビリティ・ファクターは、企業のビジネスモデルの長期的な実行可能性と借り手のキャッシュフローの耐久力にますます強い影響をもたらす可能性があります。

サステナビリティの重要課題にどう対処するかによって、企業のビジネスモデルの長期的な持続可能性と借り手のキャッシュフローの耐久力はますます大きな影響を受ける可能性があります。

弊社は、投資に対するアプローチよりもむしろ、投資プロセスに組み込むデータを指して「ESG」という用語を用いています。サステナブル投資は、従来の金銭的アルファ（超過利益）に加えて、環境と社会へのインパクトの実現を目指すプロセス志向（インテグレーション）と成果志向のソリューションを両方とも含みます。サステナブル投資は、金銭的利益を生み出すと同時に現実世界にプラスの成果をもたらすことができ、そして投資プロセスにESGデータを活用してサステナビリティ・ファクターを組み込めば、ポートフォリオに関する意思決定をより多くの情報に基づいて下すことができると、弊社は考えています。

ACIMのサステナブル投資に対するアプローチは、以下の3原則を基礎としています。

- **投資主導** 弊社が常に最優先するのは、運用パフォーマンスです。重要なサステナビリティ・ファクターを組み込むことは、これらの課題を考慮することでより多くの情報に基づいた投資の意思決定を行うことができ、お客様のためにより優れた成果を得ることができるという信条に根差しています。
- **独立した洞察** 弊社における投資の意思決定は、独自のリサーチとツールによって主導されます。サステナブル・リサーチ担当アナリストは運用チームと協働して、より深い洞察とより優れた成果を得られるツールを開発します。



- **イノベーション。**急速に発展するサステナブル投資環境の一步先を行くために、お客様と連携して、特定の投資目標を達成することを目的とした新しい機能を開発します。

運用チームの多くは、発行体の長期的な持続可能性に対する総合評価の一部としてサステナビリティ関連ファクターを考慮しています。これは投資戦略のパフォーマンスを最大化する上で役立つ可能性があります。お客様がポートフォリオのサステナビリティ関連特性に関係する具体的な目標を定めている場合もあります。そのような場合、弊社はその固有の要件を反映させるためにサステナビリティ重視の投資ソリューションを提供して対処します。

投資除外/スクリーニングに対するアプローチ

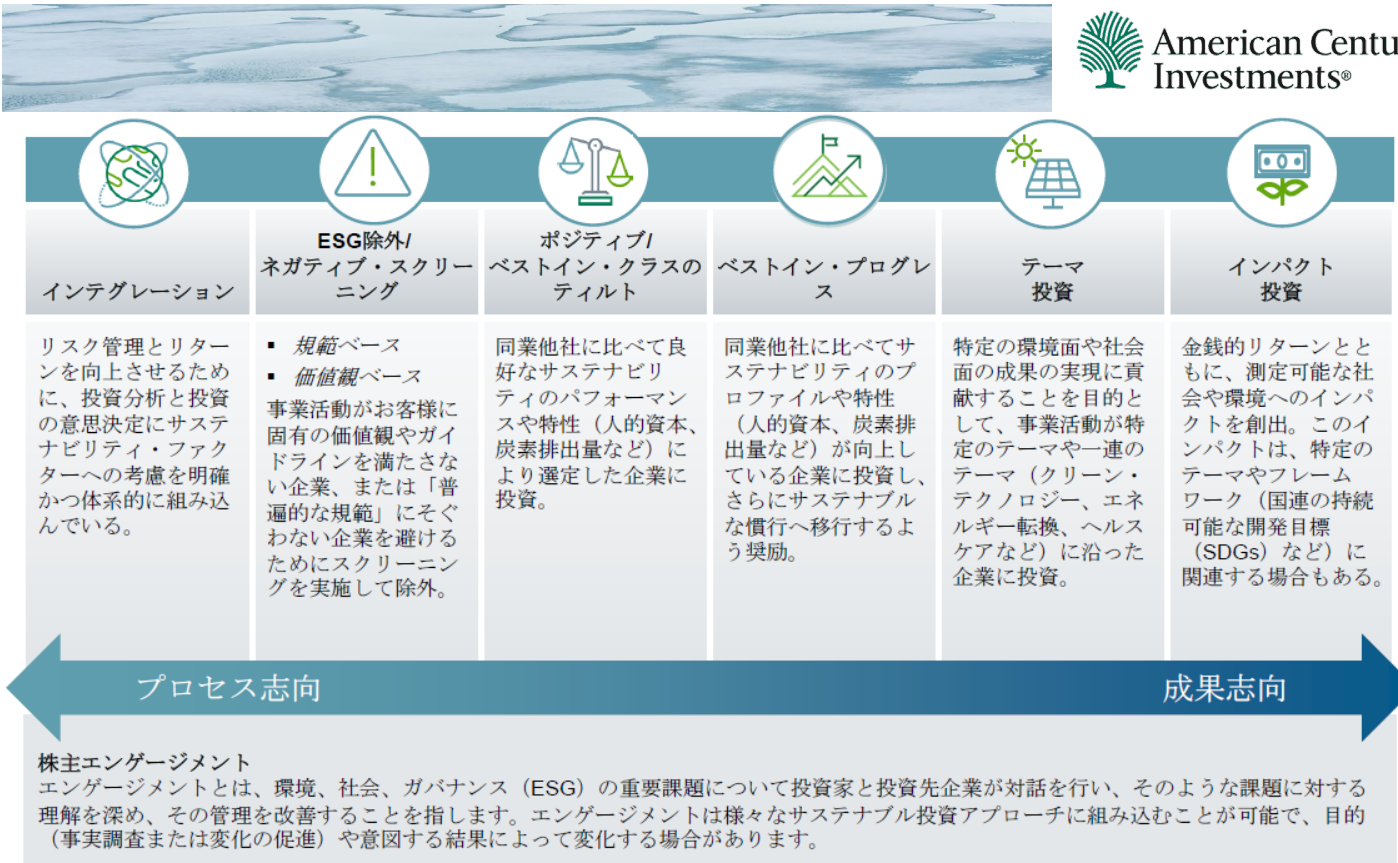
サステナブル投資に対しては全体として、除外するのではなく包摂するアプローチをとっています。価値観を押し付けるのではなく、お客様のために価値を創造することに重点を置いています。ほとんどの場合、投資を継続して運用管理能力を駆使すれば、金銭的な成果に加えて現実世界のサステナブルな成果を向上させることができると考えています。企業のサステナビリティ関連の慣行に対する弊社の見解はほとんどの場合、ポジションの規模、適正価値の評価、デュレーション、スプレッド・リスク、保有期間に反映されます。こうしたアプローチに従って弊社の運用チームが実行することは以下の通りです。

- 物議を醸す可能性があると思われる業界関連の重要なサステナビリティ・ファクターについて、投資先企業と対話を行う
- 長期的な株主価値に影響を与える可能性があると考えられる重要なサステナビリティ・ファクターを取り上げた議案に対して議決権を行使する

上記のように、弊社は必要に応じて包摂的な対応を重視しますが、お客様の様々な選好に合わせて投資ソリューションを設計して提供しており、規範または価値観に基づく除外など、投資制限を盛り込むことも可能です。

適用範囲

弊社のサステナブル投資アプローチは、ファンダメンタル・リサーチや定量データ分析、エンゲージメント活動、議決権行使を通じた投資プロセスに、ESGデータを使用してサステナビリティ・ファクターを明確に組み込む投資戦略に適用されます。これらの戦略としては、ファンダメンタル・システムティック株式、ファンダメンタル債券、マルチアセット、プライベート・エクイティなどが挙げられます。本書は、以下に示す1つ以上のアプローチを採用して、投資プロセスにサステナビリティ・ファクターを組み込むための広範な枠組みについて説明することを目的としています。



監督

以下の委員会とチームは、サステナブル投資実務に関する規定、導入、管理、および監督について責任を負っています。

- 経営委員会**は、アメリカン・センチュリーの戦略的優先事項を決定し、サステナブル投資に対するアプローチとコミットメントを監督し、この分野の全体的な進捗を監視し、この取り組みを支えるために必要なリソースを提供します。経営委員会は、アメリカン・センチュリーの取締役会（以下、「取締役会」）に対して説明責任を負っており、少なくとも年1回、サステナブル投資の戦略と進捗状況について最新報告を行います。
- 投資リーダーシップ・チーム (ILT)** は、最高投資責任者 (CIO) が統括し、運用組織全体の各分野の CIO、サステナブル投資責任者、上級幹部で構成されます。ILT は、特定のサステナブル投資イニシアチブ、アプローチ、プロセス強化、商品開発の統括機関としての役割を担っています。
- サステナブル投資カウンシル (SIC)** は、サステナブル投資責任者と、弊社の投資分野の多くを担う終身雇用の運用プロフェッショナルで構成されており、サステナビリティに対する投資主導のアプローチを重視します。SIC の責務は以下の通りです。
 - サステナブル投資アプローチに関する協議とレビュー
 - サステナブル投資アプローチの一貫した導入に対する支援
 - 弊社独自のサステナブル投資プラットフォームである **S360™**（後述）の評価、開発、技術革新
- サステナブル投資責任者**は CIO の直轄で、弊社のサステナブル投資戦略の推進と実行、および専任のサステナブル・リサーチ・チームの監督に責任を負います。運用組織の一部であるこのチームは、サステナビリティに関する独自調査の作成、社内トレーニングの実施、サステナビリティに焦点を当てた評価ツールとモデルの開発、スチュワードシップ慣行の管理、お客様のための革新的なサステナビリティ関連ソリューションの開発支援を行っています。



追加的な監督業務として、サステナブル投資責任者は、経営委員会にサステナブル投資戦略に関する最新報告を定期的に行い、必要に応じて企業および投資信託の取締役会に最新報告を行います。

サステナビリティ・ファクターを組み込むファンダメンタル投資チーム（株式、社債、およびソブリン債）内のインテグレーションの継続的なモニタリングについては、各サステナブル・リサーチ担当アナリストが、個々の運用チームと連携して、弊社のアプローチに沿ったサステナブル投資の実践を支援して推進します。サステナブル・リサーチ担当アナリストは、運用チームのサステナビリティ・リサーチの調査対象とエンゲージメント活動に対する定期的なモニタリングの実施について責任を負います。また、サステナブル・リサーチ担当アナリストは、リサーチ・プラットフォーム内の社内「レッド・ゾーン」リスク・モニターを活用して、サステナビリティ課題に関連した特定の課題や不祥事を抱えている発行体の特定をサポートします。



コンプライアンスのモニタリング

アメリカン・センチュリーの正式なコンプライアンス・プロセスでは、お客様との契約と規制文書に記載された要件に基づいて、投資戦略のモニタリングを実施します。この中には、拘束力のあるサステナビリティ関連の要件や除外、その他の制限などが含まれます。

除外規定が明文化された戦略については、自動化されたコンプライアンス・システムにおいて、コンプライアンスの例外につながる取引を防ぐための取引前チェックに加えて、銘柄や国の制限リストを維持管理します。お客様やサードパーティ・ベンダーが提供した制限については、必要に応じて更新されます。弊社のコンプライアンス・チームは、ルールを定期的にレビューして正確性と完全性を確認します。コンプライアンスのモニタリング・システムは、データの利用可能性と正確性に完全に依拠しています。

「インテグレーション」は、サステナブル投資アプローチにおいて拘束力のある要素とみなされていないため、コンプライアンス・チームがモニタリングを行わない点にご注意ください。



資産クラス別のインテグレーション

運用チームは、サステナブル・リサーチ・チームと連携して、サステナビリティ・ファクターを運用プロセスにどう組み込むかの決定について責任を負います。運用チームは、投資戦略の資産クラスやスタイル、投資期間、投資機会、お客様の目標に沿って、運用プロセス内でサステナビリティ・ファクターを考慮します。ポートフォリオ・マネージャーは、サステナビリティ・ファクターがチームによる投資の意思決定に影響を与えるかどうか、またどのように影響を与えるかについての裁量権を持っており、特定のポートフォリオに対する意思決定を行う際に、これらの問題を考慮した後、他の特性がサステナビリティ・ファクターを上回ると結論付ける場合もあります。

以下は、弊社の運用チームの多くが様々な資産クラスへサステナビリティの考慮事項をどのように組み込んでいるかについて簡単にまとめたものです。

■ 上場株式と社債（ファンダメンタル戦略）

重要なサステナビリティ・ファクターをファンダメンタル・リサーチのプロセスに組み込むと、より包括的に発行体を評価できるとの見解に基づいて、ファンダメンタル上場株式戦略および社債戦略を担当する運用チームは、分析と意思決定にサステナビリティ・ファクターを組み込み、より多くの情報に基づいた投資の意思決定を行うことを目指しています。また、株式のポジションについては、企業経営陣との対話や議決権行使の際にも、重要なサステナビリティ・ファクターを考慮する場合があります。

■ 上場株式と債券（システムティック戦略）

システムティック投資戦略は、市場参加者が公開情報を処理して価格に織り込むとの認識の下に、証券価格に織り込まれた情報の抽出を目指します。これらの戦略の大半では、銘柄選択やウェイトの決定において、環境と社会のサステナビリティ・ファクターを明確に考慮してはいないものの、システムティック運用チームは、企業の財務実績への潜在的な影響を踏まえ、ガバナンス問題に特に重点を置いています。また、システムティック運用チームは、必要に応じて専任のサステナブル・リサーチ・チームが提供するリサーチ、定量ツール、スチュワードシップに関する洞察も活用することがあります。

アヴァンティス・インベスターズ®は、炭素排出原単位、工場式農業、埋蔵量からの化石燃料排出の可能性、銃器メーカーなど特定の社会的責任やサステナビリティの課題に関連する価値観に基づくスクリーニングを取り入れた一連の責任投資システムティック株式戦略を提供しています。また、運用チームは、責任投資戦略に関し



て、企業経営陣との対話や議決権行使の際にも重要なサステナビリティ・ファクターを考慮する場合があります。

- **ソブリン債（ファンダメンタル戦略）**

ソブリン債チームは、重要なサステナビリティ・ファクターをファンダメンタル・リサーチのプロセスに組み込むことで、国家の経済的および地政学的な強みと脆弱性を包括的に評価できると考えています。ソブリン債担当アナリストは、サステナビリティ・ファクターを証券の適正価値の評価に役立てています。

- **地方債（ファンダメンタル戦略）**

地方債市場チームは、重要なサステナビリティ・ファクターが、地方債の発行体リスクを評価する際に重要だと考えています。これらのファクターを理解すると、セクター・レベルのリスクや発行体、都市、国または州のリスクについて、より完全な全体像が得られます。地方債運用チームは、サステナビリティ・ファクターを組み込んで相対価値を評価しています。

- **マルチアセット戦略**

マルチアセット戦略では、マネージャーの選定において、リターンとリスクの主要目標を達成できる投資戦略のベストな組み合わせを維持することを主な目標としています。マルチアセット戦略チームは、発行体レベルで明確にはサステナビリティ・ファクターを組み込みませんが、この戦略では、サステナビリティ・ファクターを運用プロセスに組み込んだ対象ポートフォリオに投資する場合があります。したがって、マルチアセット戦略におけるマネージャーの選定、

モニタリング、およびレビューでは、サステナビリティ・ファクターを組み込み、必要に応じて独自のサステナビリティ評価ツールを使用します。

- **プライベート・エクイティ**

プライベート・エクイティ・チームは、プラスのインパクトをもたらしながら富の創出を目指すヘルスケア企業や気候に焦点を当てた企業に投資します。同チームでは、こうしたインパクト重視が投資先企業の成功の重要な原動力となり、サステナビリティ関連のリスクと機会を管理すると同時にインパクトを追求することで事業の成果が向上し、したがって価値創出の余地が生まれると考えています。プライベート・エクイティ・チームは、保有企業に取締役として参画することがよくあります。

デューデリジェンスの一環として、同チームは、企業のパーパスがプラスのインパクトをもたらしつつ富を創出するという使命と整合しているか否かを評価し、この基準を満たす投資機会のみを追求します。より踏み込んだ分析を通じて、同チームは、投資先候補のプロファイルやサステナビリティ関連のリスクと機会の把握を目指します。投資先企業に対する年次レビューでは、企業倫理、経営陣および取締役会のダイバーシティ（多様性）、労務管理および労働慣行、サプライチェーン・システム、製品の安全性と品質などが対象となります。また、プライベート・エクイティ・チームは、必要に応じて専任のサステナブル・リサーチ・チームが提供するリサーチとリソースを活用することもあります。

サステナビリティ・リサーチおよび評価ツール

弊社のサステナブル投資アプローチで中心となるのは、独立した洞察です。サステナブル・リサーチ・チームは、運用チームの多くと協働して、お客様のために優れた運用成果を生み出すことを目標に、サステナビリティ関連の洞察を得られるツールを開発して活用しています。



独自のサステナビリティ・リサーチ・プラットフォームである **S360™**は、様々なデータセット、定量的スコアリング・モデルおよびその他のツール、エンゲージメント活動の関連情報、および定性的リサーチを開発して組み合わせる作業を継続しており、個々の発行体およびポートフォリオ・レベルでのサステナビリティ関連のリスクと機会に対する包括的な見方を提供します。**S360** フレームワークは、発行体レベルのボトムアップ分析向けに構築されており、この分析をポートフォリオ・レベルで組み合わせることができます。厳格なピアグループ比較により実行され、他の分析と併用される定量的スコアリング・モデルは、運用チームが十分な情報に基づいた意思決定を行えるようにサポートしています。また、サステナブル・リサーチ担当アナリストは、**S360** プラットフォーム内の「レッド・ゾーン」モニターを活用して、潜在リスクがより高い発行体やデータ開示が限定的である発行体、またサステナビリティの課題に関連する不祥事に関与している発行体を特定します。このリスク・モニターには第三者の入力データが含まれており、これは独自の **S360** 定量的スコアを補完する役割を果たしています。

S360 定量的スコアリング・モデル

ファンダメンタル株式・社債運用チームにとって重要なツールである **S360** の独自の定量的スコアリング・モデルは、発行体レベルのサステナビリティ分析の出発点です。このモデルは、財務的に重要なサステナビリティ・ファクターに関する発行体の業績を同業他社と比較して要約する定量的なスコアを生成します。マテリアリティ（重要性）はセクターによって異なるため、発行体の **S360** 定量的スコアは、主に産業小分類レベルで最も関連性があり重要となるファクターと指標を考慮して決定されます。弊社のマテリアリティ・マップは、サステナビリティ・ファクターの財務的関連性を特定の産業小分類に結び付ける学術研究や業界リサーチによって裏付けられています。**S360** スコアは、個々のサステナビリティ・ファクターに対して生成されます。その後、これらのスコアは重み付けがなされて合算され、環境、社会、ガバナンスの **3**本の柱に対する個別スコアを生成します。そして、これらの柱のスコアを合算し、総合的な **S360** の定量的スコアを算出します。

S360定量的スコアリング・モデル内のサステナビリティ・ファクターの例

産業小分類ごとに変化		全体に共通
環境	社会	ガバナンス
資産の完全性 生物多様性 GHG排出量 原材料の調達 水問題	消費者の安全 データ・プライバシーとサイバーセ キュリティ 健康と安全 人的資本 品質管理	監査リスクと透明性 取締役会の構造 報酬 汚職 株主の権利

分析の一環として、ファンダメンタル投資担当アナリストは、**S360** スコアに改善か悪化のいずれかのトレンド調整を適用し、発行体のサステナビリティ慣行に対する定性的を見解を反映させます。このトレンド調整は動的で見通しに関するものであり、**S360** のデータセットでは捕捉できない可能性があるエンゲージメント活動や企業報告データの評価に基づきます。サステナビリティは銘柄の購入を決定する際に運用チームが考慮する多くのファクターの1つであるため、定量的スコアが相対的に低い場合やトレンドが不利な場合でも、その銘柄を購入できないわけではありません。スコアの低さは、その銘柄のバリュエーション、ポジションの規模、または保有期間に反映される可能性があります。



S360 プラットフォームは、サステナブル・リサーチ・チームと運用チームの両方をサポートしながら、以下を通じてお客様のために洞察と機能を強化するように設計されています。

透明性 : **S360** スコアリング・モデルでは、アナリストは柱レベルのスコアを構成する個々のインプットまで掘り下げて検討し、どの指標によって発行体のスコアが良くなっているか、または悪くなっているのかを正確に把握できます。これにより、弊社の分析の焦点を絞り、エンゲージメントの推奨事項に資する知見を得ることができます。

コンテキスト : **S360** スコアリング・モデルのピアグループ・ランキングでは、共通の指標セットを用いて産業小分類の企業すべてを評価し、発行体固有のサステナビリティ・リスクの評価に重要なコンテキストを提供します。同モデルは、どの企業が特定の指標を開示しているか、また開示していないかを示し、これは多くの理由から有用です。さらに、企業の方針と慣行が同業他社と比べてどのような段階にあるかを評価する、信頼性の高いセクター・プラクティス・フレームワークも開発しています。

スチュワードシップとエンゲージメント : **S360** スコアリング・モデルによって特定されたトレンドのモニタリングも、弊社のスチュワードシップとエンゲージメントに資する知見をもたらします。サステナビリティ・リスクはかなり長期間にわたり現れる傾向があるため、売買回転率が低く保有期間が長い戦略は、売買回転率が高い戦略とは異なるトレンドに直面する可能性があります。

サステナビリティを数値に還元することは不可能であり、本質的に定性的なファクターが多数存在することを弊社は理解しています。定量的な **S360** スコアリング・モデルに加えて、**S360** プラットフォームは、企業との直接的なエンゲージメント、追加のデータセット、物議を醸す活動に対する企業のエクスポージャーに関する情報から得られる洞察をもたらします。**S360** は、運用チームがこれらの活動が重要になるか、またはトレンドに相当する可能性が高いかどうかを判断し、追加の定性的リサーチが有効である可能性がある分野を特定するのに役立ちます。

サステナビリティ関連リスクが重要だとみなした場合、運用チームは、ポジションの規模を削減するか、または発行体の売却やポートフォリオからの発行体の除外を選ぶことさえあるかもしれません。あるいは、サステナビリティ関連の課題に関して好意的な見方をしていれば、ポジションの規模やバリュエーションを引き上げる可能性もあります。ポートフォリオ・マネージャーは、サステナビリティ評価を投資の意思決定に組み込むかどうか、またはどのように組み込むかについて裁量権を保持しています。その結果として、運用チームは、ポートフォリオに対する意思決定を行う際に、投資の他の属性がサステナビリティに関する考慮事項よりも重要であると結論付ける場合もあります。

S360 とその他の資産クラス

以下のツールは、上場株式以外の資産クラスに適用され、将来的に **S360** プラットフォームに組み込まれる予定です。

ソブリン債モデル

ソブリン債は、カントリー・リスクの評価に関連するデータと、弊社のサステナビリティ・テーマ（後述）全体にわたるソブリン発行体のサステナビリティの評価に関連するデータを組み込んだ社内モデルを使用して評価されます。サステナブル・リサーチ・チームと協働して、ソブリン債担当アナリストはモデルのアウトプットを評価し、地政学に関する短期的な分析を評価に組み込みます。弊社は、これらの評価に公正な移行の原則を組み込んでおり、1人当たり **GDP** の範囲内でソブリン・リスクを評価することにより、経済発展の初期段階にある諸国が不利にならないようにしています。

社債リスク管理ツール

社債戦略においては、アナリストは **S360** プラットフォームを活用して、弊社独自の信用リスク管理/銘柄選択ツールを用いて銘柄の適正価値のスプレッド目標を評価する際に、サステナビリティ関連のリスクと機会を組み込んでいます。



地方債の評価

地方債を評価する際、運用チームは3つの要因、すなわち(1) 資金調達される特定の資産(関連する場合)、(2) 州またはその他の発行体、(3) アナリストが評価したトレンドを考慮します。アナリストはサステナビリティ・ファクターを考慮し、セクターベースのサステナビリティ・ファクターと定性的な見解の独自の組み合わせに基づいてスコア付けを行います。地方債アナリストは、サステナブル・リサーチ・チームと協働して、各地方債セクターのサステナビリティ関連の主要リスクを特定しています。アナリストは、米国連邦緊急事態管理庁(FEMA)の公開データや発行体の開示データ、クレジットスコープのデータ、定性的インプットを使用して、これらのリスクを評価します。公開データを使用し、アナリストが、従来の指標の範囲を超えた発行体とポートフォリオのリスクを理解できるよう、学術研究、ならびに定量的および定性的指標によって裏付けられたサステナビリティ・ファクターを組み込んで各地方自治体のサステナビリティの課題を評価します。また、ガバナンスについては国および州ごとに評価します。

S360 - データと出所

独立した洞察は、弊社独自のリサーチとツール、エンゲージメント活動、および企業が報告した開示書類(10-K、10-Q、20-F、GRIスタンダード準拠またはそれと同等のサステナビリティ報告書、委任状説明書など)に基づいています。弊社の評価ツールは、学術研究や業界リサーチ、そして第三者のデータの情報に基づいています。

弊社のファンダメンタル株式・社債運用チームは、MSCI、サステイナリティクス、S&P、ISSなどのサードパーティ・プロバイダーからの提供データを活用する評価ツールを使用しています。

ソブリン債発行体のサステナビリティ関連のリスクを評価する場合、弊社は、国連教育科学文化機関(UNESCO)、世界銀行、国連開発計画(UNDP)、およびFEMAなどの多岐にわたる独立した情報源のデータを使用します。地方債は、FEMAの公開データ、発行体の開示データ、クレジットスコープのデータ、および定性的分析を組み合わせで評価します。

投資先のサステナビリティ・テーマ

弊社は、企業が直面するサステナビリティの課題と機会の大部分は、経済の持続可能性と成長に係る他の要因と切り離して評価することはできないと考えています。弊社のリサーチは、下記のサステナビリティ関連の5つのメガテーマとサブテーマに重点を置いており、これらは企業が成長できる持続可能な経済を確立するために不可欠であると考えています。メガテーマのうち4つは、ヘルスケア、エンパワーメント、サステナブルな生活、および気候で、これらは持続可能な経済的繁栄を達成する上で極めて重要である国連の持続可能な開発目標(SDGs)と直接整合しています。5つ目の技術進化はSDGとは明確に整合していませんが、弊社はイノベーションとテクノロジーへのアクセスが、より包摂的で生産的かつ持続可能な世界経済を実現するための鍵であると考えています。ソリューションを革新し、重要課題に対処し、社会を転換するに当たりこれらの分野で生じる機会は、サステナブル投資の将来を形作るのに役立つと弊社は考えています。



ヘルスケア

サブテーマ
革新的な治療法
医薬品と医療サービス
へのアクセス
より生産的な医療
機器・サービス
コスト削減



エンパワーメント

サブテーマ
ダイバーシティ、エク
イティ、インクルー
ジョン
賃金構造
人権・労働者の権利
社会的地位の向上



サステナブルな生活

サブテーマ
製品寿命
生産
食料システム
製品寿命の延長
持続可能なインフラ



気候

サブテーマ
代替エネルギー
生物多様性
水問題
気候緩和
クライメート・テック
廃棄物管理



技術進化

サブテーマ
デジタル化
フィンテック
Eコマース
コネクティビティ
自動化

← スチュワードシップ →

これらのテーマは、トップダウンのサステナブル投資リサーチとスチュワードシップの優先課題を決定し、また独自の S360 プラットフォームに組み込まれています。さらに、サステナブル・リサーチ・チームは、サステナブル投資カウンスルと連携して、これらのサステナビリティに関するリスクと機会への理解を深めることを目的として、すべての運用チームに定期的なトレーニングの機会を提供しています。

ここでは、弊社のサステナブル投資プロセスとスチュワードシップ活動に組み込まれるこれらのテーマにおけるサステナビリティ関連の課題の例を示します。

テーマ：ヘルスケア

ヘルスケアにおけるイノベーションの支援は、ストワーズ医学研究所との関係を通じてアメリカン・センチュリーの文化に深く根付いていますが、ヘルスケアは弊社の枠を超えて多くの理由でサステナビリティの中心となっています。簡単に言うと、労働者や消費者がヘルスケアにアクセスできなければ企業や社会は繁栄できないため、ヘルスケアは経済の繁栄に欠かせません。病気を患えば賃金を失い、生産性が低下するため、収益性が低下し、個人消費の減少につながります。他方で、疾患の発生率や重症度の引き下げや、治療費の削減をもたらす医療革新は、医療が社会に課す負担を軽減すると同時に、ヘルスケア企業に多大な経済的利益をもたらす可能性があります。ヘルスケアにアクセスでき、ヘルスケアのイノベーションが優先されると、投資家は利益を得ることになります。

テーマ：エンパワーメント

エンパワーメントのテーマでは、人的資本管理の重要性が強調されており、これは、投資家が企業のバランスシート上の資産を評価する方法がここ数十年で大きく変化したことに関連しています。現在、S&P 500 指数構成銘柄の時価総額の 90%以上が無形資産に起因しており、その大部分は人的資本によって動かされているか、人的資本に由来しています。人的資本管理が十分でない場合、企業は離職率が高く、従業員エンゲージメントが乏しく、安全面の実績が悪化する可能性があります。これらすべてはコスト上昇と生産性の低下を引き起こす可能性があります。この分野で不適切な慣行を続ける企業は、罰金、訴訟、風評被害に遭遇するリスクがあります。エンパワーメントのテーマには、従業員のトレーニングや能力開発も含まれ、これにより従業員エンゲージメントを改善し、コストのかかる離職を低減することができます。

テーマ：サステナブルな生活

サステナブルな生活のテーマでは、企業があらゆる種類の製品をどのように持続可能な方法で設計、製造、提供するかに焦点を当てています。これに関する論理は単純です。天然資源、原材料、その他の投入物に無駄が生じるとコストが増大します。したがって、廃棄物を削減すれば収益性が向上します。さらに、すべての資源には限りがあるため、無駄が生じれば生産できるモノの量が減り、最終的には持続不可能になります。弊社は、製品開発の設計段階から始めて、廃棄物削



減のために慎重な措置を講じる企業を求めています。部品のリサイクルが容易になる方法で製品を作ると廃棄物が削減され、スマート・パッケージングによって輸送コストが節減され、廃棄物を最小限に抑える方法で食品を生産して包装すれば収益性が高まり、農業に使用される土地と水の量が削減されます。スマートな

ビルとインフラは、企業や消費者のエネルギー消費削減に役立ち、気候変動の対策と経済における効率向上にも寄与します。

テーマ：気候

GHG 排出量、水不足、生物多様性の喪失などの気候関連の課題は、企業とその投資家に財務リスクや規制リスク、風評リスクをもたらします。気候変動関連の課題は、多くの産業に不可欠な淡水や原材料などの天然資源に悪影響を及ぼす一方、事業運営コストの増加、有形資産の損傷、サプライチェーンの混乱を引き起こす可能性があります。気候変動と生物多様性の喪失への対応については圧力が高まっており、対応が不十分な企業は構造的な逆風と訴訟の可能性に直面する可能性があります。脱炭素化はこの時代の産業革命であると弊社は考えています。脱炭素化にはリスクと変化が伴い、その道筋は必ずしも平坦ではないものの、弊社は極めて大きなチャンスが存在するとみています。気候変動対策、生物多様性の保護に役立つイノベーションと慣行を追求すれば、新たな収益源が生み出され、変化する顧客の選好に一致する可能性があります。さらに、環境に関して優れた資質を持つ企業は多くの場合、リスクが低いとみなされ、より低コストで資本にアクセスでき、より優れた成長見通しを示す可能性があります。気候関連の考慮事項を組み込むことは、リスク管理と世界経済における新たな機会の活用という両面で、今や企業にとって必須となっています。

テーマ：技術進化

サステナビリティとテクノロジーの進歩は関連性がないように見えるかもしれませんが、さらによく考えてみると、テクノロジーを活用してより持続可能な世界を実現できる方法は実質的には無限にあることがわかります。テクノロジーの進歩により、企業は、作物に水や肥料を与える必要がある時期の特定から、機器が故障しそうになる状況の監視、無人の部屋の自動消灯まで、幅広いプロセスを監視することができます。デジタル接続により、新興市場の商店や消費者がオンライン・バンキングにアクセスできるようになり、経済的な安全性が向上し、経済成長が下支えされます。そして現在、人工知能はあらゆる業界において、技術進化を通じて収益創出とコスト削減の両面で新たな機会を生み出しています。しかし、これらの新たな機会は、企業の評判を損なう可能性がある重大なリスクも伴います。そうしたサステナビリティに対する脅威は、積極的に管理する必要があります。

ガバナンス

優れたガバナンスは、企業の長期的なサステナビリティにおいて極めて重要な役割を果たします。弊社は主に、企業発行体のリスク軽減要因としてガバナンス慣行を評価し、地方債や証券化資産の元利払いに当てはまる場合にもガバナンスについて検討します。弊社は、財務的に重要とみなされている企業のガバナンス慣行について、以下のカテゴリーにわたって評価します。

監査リスクと透明性：弊社は、財務報告と事業報告の完全性と透明性を確立して維持するために、すべての企業には強固で効果的な内部および外部監査手続が必要であると考えています。評価の際に考慮する課題には、関連当事者取引と監査委員会の独立性が含まれます。

取締役会の構造：取締役会には、株主の最善の利益を優先するための率直な議論と独立した意思決定を促進する適切な知識、独立性、多様な視点を提供できる取締役を含めるべきだと弊社は考えています。このカテゴリーで考慮する問題は、独立取締役の割合、取締役会のエンブレチメント（保身）、取締役会のダイバーシティ（多様性）、取締役に対する多数の反対票などです。

報酬：役員報酬の慣行は、長期的なサステナビリティと価値創出を実現するために、企業の戦略および目標と整合する必要があります。報酬関連の開示は、事業上の論理的根拠を明確に伝え、株主に対して透明性を確保する必要があります。評価対象の課題としては、長期的な報酬の実績、報酬委員会の独立性、ゴールデン・パラシュートなどが挙げられます。



汚職：汚職は政府、経済、産業、企業、および個人に損害を与え、汚職防止の取り組みは優れたコーポレート・ガバナンスに不可欠とみなされています。企業は、贈収賄およびその他の形態の汚職のリスクを軽減するために強固な方針を策定し、これらの方針を株主および関連するステークホルダーに伝達する必要があります。

株主の権利：弊社は、取締役会がすべての株主に対する説明責任を果たすようにするため、株主の議決権は企業の所有者としての経済的利益に直接結び付けられるべきだと考えています。弊社は一般的に、議決権に差異のある複数クラスの資本構成に反対します。弊社の見解では、こうした資本構成は多くの場合、経営陣の保身につながり、他の株主に対する経営陣の敏感な対応を損なう可能性があります。この分野における弊社の評価対象は、

少数株主の権利の保護、議決権、議決関連手続などの課題が含まれますが、これに限定されません。

スチュワードシップ

お客様の資本を長期運用して管理するため、弊社はエンゲージメントと議決権行使をリターン向上とリスク管理に不可欠なツールとみなしています。弊社がコミットすることは以下の通りです。

投資主導のアプローチ。スチュワードシップの責任を果たす際、運用チームとサステナブル・リサーチ・チームとの緊密な連携は、サステナビリティへの投資主導のアプローチ原則を反映しており、一貫性のあるインテグレーション・プロセス、より多くの情報に基づいた投資の意思決定、そして最終的にはお客様のためにより優れた成果の実現につながると考えています。

透明性。スチュワードシップの優先課題に関する透明性は、弊社のお客様、投資先企業、その他の主要ステークホルダーにとって重要であると考えています。弊社は、アクティブ・オーナーシップの責任をどのように維持する予定であるかについて情報を提供し、投資先企業に弊社が焦点を当てる主要分野についてアドバイスをします。また、お客様のために十分な情報に基づいた投資の意思決定を行う上で重要であるため、弊社は企業経営陣に透明性向上を奨励します。

建設的なエンゲージメント。エンゲージメントは、弊社のサステナブル投資アプローチにとって重要な要素であり、企業に対する長期的なサステナビリティ分析に役立っています。弊社のエンゲージメント慣行は、株式と社債双方の運用チームに適用され、運用プロセスではサステナビリティ・ファクターおよび従来の財務分析の考慮を組み込みます。

慎重な議決権行使。株式ポートフォリオについては、サステナブル・リサーチ・チームは、各株主提案の基礎となるサステナビリティ関連の課題の財務的重要性を評価する際に、セクター・プラクティス・フレームワークに従い、ポートフォリオ管理チームに議決権行使に関する推奨を行います。弊社は通常、すべての提案をケースバイケースで評価し、株主利益を優先し、一般的に強固なガバナンス、透明性の向上、開示の一貫性を促進する提案を支持します。

エンゲージメント

株式および社債の発行体との直接的なエンゲージメントは、弊社のサステナブル投資アプローチの重要な要素です。エンゲージメントは、ファンダメンタル運用チームが中心となって実施していますが、システムティック運用チームは、エンゲージメントのリソースと洞察にアクセスできます。サステナブル・リサーチ・チームは運用チームと連携して、エンゲージメントのプロトコルを管理します。エンゲージメント活動では、企業の価値に影響する可能性があるため弊社が考える重要なサステナビリティ・ファクターに焦点を当てています。サステナブル・リサーチ・チームは、持続可能な経済の実現に不可欠と弊社が考える（前述の）サステナビリティ・テーマについて企業と対話を行います。

エンゲージメント活動には、対面会議、書面でのコミュニケーション、産業フォーラムなどがあります。エンゲージメントはサステナビリティ評価に役立ち、より多くの情報に基づいた投資の意思決定につながります。また、次のような機会を提供します。



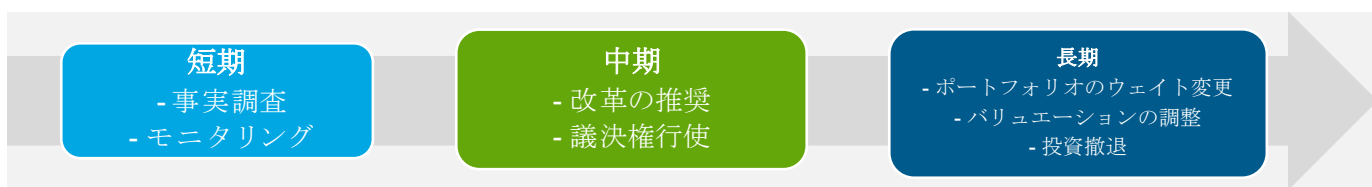
- サステナビリティ関連の機会とリスク、発展する市場動向、および物議を醸す潜在的な活動の管理に対する企業のアプローチについて理解を深める
- サステナビリティとそれに伴うリスクに関連する重要課題について透明性の向上と開示を働きかける
- サステナビリティ関連のベストプラクティスと業界基準について協議する
- 企業のサステナビリティ慣行に関して見通しを立てて、必要に応じて変更を奨励する
- 株主提案について弊社がとる立場を固める上で役立つ情報を得る

弊社のエンゲージメント・プロセスは、投資先企業の財務状況に影響を及ぼす可能性があると考えられる、サステナビリティ関連の重要課題を特定することが起点となります。これらのトピックの例としては、気候変動リスクと水ストレス、医療サービスへのアクセス、事業や法律に関わる不祥事、データ・プライバシーとサイバーセキュリティ、人的資本、人権などが挙げられます。

弊社のエンゲージメントの議題は、以下の1つ以上の項目を中心に設定される場合があります。

- **企業固有の懸念事項**：企業の長期の見通しと業績に影響を及ぼす可能性がある、重要なサステナビリティ関連のリスクと機会に焦点を当てます。エンゲージメントは、弊社が調査を行い、対処したいと考えるリスクまたは機会の特定領域を見出した企業と行います。通常、これらの企業と個別に対話し、重要課題を特定して優先順位を付け、その情報に基づいて投資分析を行います。将来的に変化の促進につながりうる関係性を構築するために、定期的に企業と対話する場合があります。これらのエンゲージメントを通じて、弊社は、対象企業のサステナビリティ慣行が長期的にどのように発展するかについて理解を得ることができます。
- **アドホックまたはイベントドリブン型の課題**：深刻な不祥事、または短期の対応を必要とする課題が確認された場合の議決権行使などの出来事から生じる持続可能性関連の課題に対応します。
- **テーマ別のエンゲージメント**：ヘルスケア、エンパワーメント、サステナブルな生活、気候、技術進化など、弊社のサステナビリティ・テーマに沿ったサブテーマやトピックについて、様々な企業を対象に実施します。これらのエンゲージメントには、特定の企業がそれらのサブテーマに関連するリスクと機会にどのように対処しているかについての包括的な議論が含まれます。サステナブル・リサーチ・チームは通常、運用チームと連携してテーマ別エンゲージメントを統括します。

投資先企業と対話を行う際、関係する課題と期間によって重点と成果は異なり、進捗や成功を定義する方法は企業や投資戦略によって異なる場合があります。



投資先企業が妥当な時間枠内に弊社の懸念事項に対処できなかった場合、または特定されたリスク・エクスポージャーをファンダメンタルズで適切に埋め合わせることができない場合、ポートフォリオ・マネージャーは以下のようにエスカレーションする可能性があります。

- バリュエーションやスプレッド目標のリスク調整を行う
- 取締役会の個々のメンバーと対話する、または取締役会全員に宛てた書簡で弊社の立場とエンゲージメントの目標を説明する。これは、課題が対処されない場合に今後の投票に対する意向を示すのに役立つ場合がある
- 弊社のお客様に代わって変化の支持を表明するために議決権を行使する
- ポートフォリオにおける当該銘柄のウェイトを引き下げる、または（最終手段として）当該銘柄を売却する



弊社は、投資撤退よりも企業との対話を選好しています。投資撤退を行えば不満をはっきりと示すことができますが、継続的なエンゲージメントを通じて変化の促進を追求すれば、最終的にお客様のためにより優れた成果をもたらすと考えています。弊社は、投資撤退を最終手段とみなしており、ケースバイケースで投資撤退に踏み切ります。

エスカレーションのスケジュールは、課題の重要性、投資期間、ポートフォリオの目標によって異なります。

エンゲージメント活動は弊社共通の投資リサーチ・プラットフォームである S360 に要約され、運用チーム間の共同作業と透明性の向上を促進します。エンゲージメントは、目標の一覧を要約し、企業の進展を記録し、成果を文書化します。投資チームは、投資の意思決定を評価する際には、投資期間、財務上の重要性評価に従って、エンゲージメントの成果を分析する場合があります。

議決権行使（ファンダメンタル・システマティック株式戦略）

議決権行使では、アメリカン・センチュリーは、受託者の一般原則に従います。弊社は、運用する勘定の実質所有者の利益のみに焦点を当てて慎重に行動を起こします。つまり、株主価値を最大化するために最も効果的であると考えられる方法で議決権を行使します。アメリカン・センチュリーは議決権行使方針書を採択しており、これは投票に対する弊社の判断の裏付けになります。

弊社は、議決権行使の調査プロセスへのインプットとしてインスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズ（ISS）を利用していますが、議決権行使の意思決定活動の委任や外部委託は行っていません。弊社は、ISS の推奨を考慮しますが、お客様の保有株式に対する投票賛否の判断にあたり、ISS の推奨に依拠しません。

特定のサステナビリティ・ファクターは、発行体の長期の財務実績に影響を与える可能性があると考えています。弊社のサステナブル・リサーチ・チームは、内在的にサステナビリティ関連の潜在的課題を抱えていると特定され、株式戦略の保有ポジションに影響を与える場合、議決権行使提案をレビューします。セクター・プラクティス・フレームワークと ISS による議決権行使に関する推奨など様々なインプットを取り入れ、サステナブル・リサーチ・チームは、財務的重要性および議決権行使提案の裏付けとなるサステナビリティ問題の潜在的リスクや経済的影響を分析し、それらの分析を基にポートフォリオ・マネージャーに投票について推奨を行っています。

サステナブル・リサーチ・チームは、株主提案とその経済的影響、そして長期的に株主価値を最大化できる余地との間に重要な関連性があると判断した場合、株主提案をケースバイケースで評価し、提案への支持を推奨することがあります。サステナビリティ関連の議決権行使の課題の例には、取締役会の独立性、取締役のオーバーボーディング（複数の上場企業の役員に就くこと）、環境関連の開示、人的資本管理、サプライチェーンの管理、および株主の権利などがあります。

様々なサステナビリティの課題があり、ポートフォリオに与えるその影響が異なる可能性があるため、これらの課題に対するポートフォリオ・マネージャーの考慮事項も異なる場合があります。したがって、ポートフォリオ・マネージャーは、サステナブル・リサーチ・チームや他のアメリカン・センチュリーの運用チームの賛否推奨とは異なる投票を行う場合があります。ポートフォリオ・マネージャーは、運用ポートフォリオに対する議決権をめぐる判断について権限を持っており、最終責任を負います。

弊社による投票は ISS プラットフォームに記録されており、そのため全体の議決権行使結果の追跡と報告を行うことができます。弊社の議決権行使については、[弊社ウェブサイト](#)にて公表しています。

利益相反への対応を含む、弊社の議決権行使に関する方針の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

業界との連携と協働



スチュワードシップへの取り組みの一環として、弊社はサステナブル投資を促進する連携団体や業界の協働イニシアチブの一角に参画しています。弊社は、投資主導のアプローチに沿って、サステナビリティ・テーマを促進させる、より小規模で焦点が絞り込まれたイニシアチブへの関与を優先しています。

弊社が加盟している、または支持を表明している組織や連携団体は以下の通りです。責任投資原則、機関投資家評議会、インベスター・スチュワードシップ・グループ、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト (CDP)、気候関連財務情報開示タスクフォース、自然関連財務情報開示タスクフォース、アジア太平洋地域の奴隷と人身売買に反対する投資家グループ (創設メンバー)、医薬品アクセス財団、オーストラリア責任投資協会、シェアアクション (ヘルシー・マーケット・イニシアチブ)、ヒューマン・キャピタル・マネジメント連合、およびエレン・マッカーサー財団コミュニティ・メンバー。

詳細な情報については、[アメリカン・センチュリーの持続可能な投資能力へのアプローチ](#)をご覧ください。

開示

アメリカン・センチュリーの投資戦略の多くは、従来の金融分析に加えて、環境・社会・ガバナンス (ESG) データを使用してサステナビリティ・ファクターをその投資プロセスに組み込んでいます。しかし、その際に、ポートフォリオ・マネージャーは全ての投資の意思決定に関してサステナビリティ関連のファクターを検討しない可能性があります。また、たとえそうしたファクターが検討されるときでも、ポートフォリオの意思決定をする際に投資の他の属性がサステナビリティ・ファクターに勝ると結論付ける場合があります。したがって、サステナビリティ・ファクターの組み込みは利用可能な投資機会を制限するおそれがあり、サステナビリティ・ファクターを取り入れない運用と比べ、ポートフォリオがアウトパフォームする場合もあれば、しない場合もあります。ポートフォリオ・マネージャーが使用する ESG データは、標準化、一貫性、透明性が欠如している場合が多くあり、特定の企業については、そうしたデータが利用できないか、完全または正確でない場合があります。

サステナブル投資の定義

- **インテグレーション**: サステナビリティ関連のファクターを組み込んだ投資戦略は、より多くの情報に基づいた投資の意思決定を行うための努力の一環として、サステナビリティ・ファクターを他の財務変数と併せて分析することを通じて投資決定を行うことを目指します。サステナビリティ・ファクターを組み込んだポートフォリオは、サステナビリティ・ファクターを組み込んでいない投資戦略をアウトパフォームする場合もあれば、しない場合もあります。ポートフォリオ・マネージャーは、サステナビリティ・ファクターがどのようにポートフォリオの保有銘柄に影響を与えるかについて最終



決定権を持っており、その分析に応じて、投資判断がサステナビリティ・ファクターによる影響を受けないこともあります。

- **サステナビリティ重視**：サステナビリティ・ファクターを重視した投資戦略は、正常な市場環境下で特定のサステナビリティ関連基準に適合する有価証券に投資し、サステナブルの向上に加え、優れた長期的なリスク調整後のリターンを追求することを目指します。あるいは、従来の財務分析に加えて、この投資戦略は、特定の価値観や規範を満たさないサステナビリティ・ファクターや事業活動に基づいて、特定の銘柄、産業、またはセクターを除外することにより、投資ユニバースをフィルタリングする場合があります。サステナビリティ重視により、ポートフォリオに利用可能な投資機会が制限される可能性があります。したがって、ESG 投資のポートフォリオのパフォーマンスは、サステナビリティ・ファクターを組み込まないポートフォリオと比べ、差が出る場合があります。サステナビリティ重視の投資戦略には、除外、ポジティブ・スクリーニング、ベストイン・クラス、ベストイン・プロGRESS、テーマ別、およびインパクトのアプローチが含まれますが、これらに限定されません。

リスク管理はリスクがゼロなことを意味するわけではありません。

示された意見はアメリカン・センチュリー・インベストメントのものであり、アメリカン・センチュリー・インベストメントのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。本資料の情報は個人に向けた推奨や受託者としての助言として意図されていません。また、投資、会計、法律、税務に関するアドバイスとして本資料に依拠しないでください。

本資料の情報は個人に向けた推奨や受託者としての助言として意図されていません。また、投資、会計、法律、税務に関するアドバイスとして本資料に依拠しないでください。

アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネージメント(UK) リミテッドは、イングランドおよびウェールズで登録されています。登録番号06520426 登録事務所：12 Henrietta Street, 4th Floor, London, WC2E 8LH

アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネージメント(アジアパシフィック) リミテッドは現在、証券先物委員会(「SFC」)に1種および4種の登録をしています。アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネージメント・インクはSFCに登録されていません。

アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネージメント・インクは、オーストラリア会社法における「金融機関クライアント」に対して提供する金融サービスという意味で、2001年会社法(Cth) (オーストラリア会社法)の基づくオーストラリアの金融サービス免許の保有要件から免除されており、かかる免許を保有していません。アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネージメント・インクは、オーストラリアの法律とは異なる米国の法律に基づき、証券取引委員会の規制を受けています。アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネージメント・インクが提供するサービスは、オーストラリア証券取引委員会(ASIC)のクラス・オーダー[CO 03/1100]に準拠して提供されています。

アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネージメント・インクはドイツ連邦金融監督当局(Bundesanstalt für Finanzdienstleistungsaufsicht 「BaFin」)の認可を受けています。

この資料は情報提供のみを目的として作成されており、当該資料に記載されている有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略または商品を提供、販売の推奨や購入の勧誘をすることを意図したものではありません。



ません。この資料の内容は、規制当局によってレビューされていません。アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクは日本で登録されていません。

当ホームページは、英語版で作成されてコンプライアンス審査を行い、それを日本語版に翻訳したものです。英語版と日本語版が同じ意味になるように最善を尽くしておりますが、仮に不一致があった場合は英語版の文言が優先します。